



**ARTCOURT Gallery**

Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

## ACG press release 2015.04

國府理が共に風を起こし、共に旅をしてきた代表作と、  
彼を支え愛する美術界諸氏65組のオマージュ作品、共同制作作品、評論、エッセイによる展示。



國府理《ROBO Whale》2008-09年 自動車部品、プロペラ、鉄、他 260×380×770 cm | 撮影：表恒匡

# 國府理の仕事と仲間たち

**Osamu Kokufu: His Work and His Circle** Date. May 1 – 30, 2015

会期：2015年5月1日 [金] – 5月30日 [土]

開廊時間：11:00 – 19:00 (土曜、5月5日・6日は、11:00 – 17:00)

休廊日：日・月曜 会場：アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

イベント：● オープニングレセプション：2015年5月2日 [土] 15:00 – 17:00

● クロージングレセプション：2015年5月30日 [土] 15:00 – 17:00

作品点数：◎ 國府理の仕事 約15点 / ◎ 仲間たち 65点 (作品37組・文章28名)

主催：アートコートギャラリー

協力：國府克治、Solar Power Lab.

協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

※ビジュアル資料ご希望の方は、アートコートギャラリーまでお気軽にお問合せ下さい

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F 株式会社八木アートマネジメント  
Tel:06-6354-5444 Fax:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com URL www.artcourtgallery.com

アートコート ギャラリー



**ARTCOURT Gallery**  
Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

## 國府理の仕事と仲間たち 展覧会開催のご案内

Osamu Kokufu: His Work and His Circle

### 【開催主旨】

2015年5月1日より、アートコートギャラリーでは、昨年4月に急逝しました國府理の展覧会を開催します。彼を偲ぶと同時に、美術家・國府理として目指したことを「未来」に繋ぎたく、本展を企画しました。

#### ◎ 國府理の仕事 約15点

國府理が共に風を起こし、共に旅をしてきた代表作を展示します。

ワーゲン・ビートルを改造し背中に載せたエンジンでプロペラを回転させて飛行するクジラの化石《ROBO Whale》(2008-09)、ヨットのよう風力で走る《Sailing Bike》(2005)、48V-800Wの電動モーターで動く《電動三輪自動車》(1994-04)、パラボラアンテナの苔庭を載せて走る《Parabolic Garden》(2010)、小作品、ドローイング、記録写真・映像など。

#### ◎ 仲間たち 65点 (作品:37組、文章:28名)

計65組によるさまざまな「國府理の仕事」への想いを集め、オマージュ作品、共同制作作品、評論、エッセイを展示します。

野村仁らとソーラーカーを共同制作し、その車でアメリカ大陸を横断したSolar Power Lab.のプロジェクト記録や、ロボットクリエイター高橋智隆やヤノベケンジらと共に制作した乗用二足歩行ロボットCHOROBO5号機《erectus》、作品パーツに顔写真を協力提供していた木村太陽《Everything Merges With the Night》、共にコラボレーションを構想していたという榎忠の《ダンボー014》、未来への思考と欲求を促す装置である植松琢磨《earth palette-Jan.23.2015》など37組の作品。「國府理の仕事」に寄せての評論、エッセイ、28名の文章。

本展を通して多角的に國府理の仕事掘り下げながら、新たな見地の発見に繋がりましたら幸いです。機械と自然とが融合・対立・循環を繰り返すエネルギーを考察しながら、常に「今・ここ」から「未来」を模索していた國府理。その「未来」を皆様と共に探し求めたく、ご周知ならびにご高覧の程、よろしくお申し込み申し上げます。

### 【出品作家】

#### ◎ 國府理の仕事

國府理

#### ◎ 仲間たち

國府理を支え愛する美術界諸氏 計:65組 による特別出品

・・・ 作品出品:37組、文章出品:28名 (以下、五十音順 敬称略)

#### [ 作品出品 ]

石田真也 稲垣智子 植松琢磨 榎忠 遠藤研二 大西和希 岡本高幸 恩田武史 カワイオカムラ 河上友信  
川本明香 北加賀屋みんなのうえん+ファブラボ北加賀屋+國府理 木村太陽 倉貫徹 國府理+吹田哲二郎 児玉真人  
佐川好弘 Tomas Svab(シュヴァーブ・トム) Solar Power Lab.(ソーラーパワーラボ) 高橋匡太+勝又良宏+北村光隆+國府理+西林崇  
高橋智隆+白石晃一+國府理+ヤノベケンジ+ウルトラファクトリー 谷川恵子 タムラサトル 豊永政史 名和晃平 永井英男  
野村仁 備後英行 福永一夫 堀尾貞治 本田治子 牡丹靖佳 待場崇生 村岡亮 山宮隆 吉原和恵 吉田雷太

#### [ 文章出品 ]

荒木康子(福島県立美術館学芸員) 石崎尚(愛知県美術館学芸員) 奥脇嵩大(青森県立美術館学芸員)  
加須屋明子(京都市立芸術大学美術学部教授) 金井直(信州大学人文学部准教授) 川北英(公益財団法人ギャラリーエークウッド館長)  
木村太陽(アーティスト) 木村未来(読売新聞文化・生活部記者) 清澤暁子(あいちトリエンナーレ2016 コーディネーター)  
楠本愛(国立国際美術館研究補佐員) 熊谷寿美子(アートスペース虹 オーナー) 鞍田崇(明治大学理工学部准教授) 小吹隆文(アトライター)  
佐野吉彦(安井建築設計事務所取締役社長) 島田恭幸(高島屋美術部) 清水有香(毎日新聞学芸部記者) 神保匠吾(PingMag エディター)  
田中恒子(大阪教育大学名誉教授) 寺浦薫(大阪府都市魅力創造局文化課主任研究員) 中塚宏行(大阪府都市魅力創造局文化課主任研究員)  
中村史子(愛知県美術館学芸員) 永井英男(アーティスト) 埴美智子(アトライター) 深萱真穂(フリーライター)  
藤井匡(東京造形大学准教授) 松下和美(群馬県立館林美術館学芸員)  
三井知行(大阪新美術館建設準備室学芸員) 山本麻友美(京都芸術センター プログラム・ディレクター)

◎お問い合わせ: アートコートギャラリー 八木・大場・灰田 ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F E-mail:info@artcourtgallery.com TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 www.artcourtgallery.com



**ARTCOURT Gallery**  
Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

# 國府理の仕事と仲間たち 展覧会開催のご案内

Osamu Kokufu: His Work and His Circle

## 【主な展示作品】

國府理が共に風を起し、共に旅をしてきた代表作と、彼を支え愛する美術界諸氏65組のオマージュ作品、共同制作作品、評論、エッセイ。

### ◎ 國府理の仕事



[左] 國府理《ROBO Whale》2008-09年 自動車部品、プロペラ、鉄、他 260×380×770 cm | 撮影:表恒匡

[中] 國府理《電動三輪自動車》1994-04年 鉄、オートバイ部品、モーター、バッテリー、FRP 58×117×242 cm | 撮影:福永一夫

[右] 國府理《Sailing Bike》2005年 FRP、セイル、ステンレス、アルミ、他 402×38×275 cm

[右下] 國府理《Parabolic Garden》2010年 パラボラアンテナ、鉄、植物、タイヤ、他 120×120×120 cm 田中正見蔵 | 撮影:表恒匡

“自分は人とはいえ物質的なものの延長だと感じているところがあって、機械工作の延長上に扱いはじめた植物というのは、対人間へと至るまでの過程のような気もしています。” 『國府理インタビュー聞き手:池上司 2011年3月2日』『國府理作品集 Osamu Kokufu』、アートコートギャラリー、2011、p.26

乗り物の形態をモチーフに、國府理は実際に稼働する動力と機能を備えた大型の立体作品を制作・発表しました。様々な工業製品を素材に用いながら、独自の設計思想と構造美を追求して必要な部材を自ら作り出し、ユニークな自動車やバイクを数多く手掛けます。國府の造形哲学と世界観は“KOKUFUMOBIL”の名で親しまれ、現実の風景の中を走らせることで完成する動く彫刻として、想像力と未来の情景を喚起し人々を魅了してきました。

その後、乗り物に植物や生態系を組み合わせ、「移動」と「循環」をテーマに自然と人間の営みの構造を反転させて寓話のように物語る庭や温室型の作品によって、創作スケールを飛躍的に拡大させます。機械文明に埋もれゆく現代社会をアイロニカルに問う一方で、モノづくりへの純粹無垢な魂を乗せた國府理の表現は、多くのクリエイターたちに影響を与えました。

國府理が夢を追うように求めて止まなかったもの、作品化して私たちに問いかけ続けたものをもう一度丁寧に確かめながら、國府理が次に制作しようとしていたものは何だったのだろう…!? 多くの皆様と、未知の國府理にもイメージを膨らませ、語り合う機会にできればと願います。また、本展では、生前より國府理を支え愛する美術界の諸氏にも特別出品を依頼し、さまざまな「國府理の仕事」とその想いを集めて展示します。



### ◎ 仲間たち



[左] Solar Power Lab. (ソーラー・パワー・ラボ) ソーラーカーによるアメリカ大陸横断旅行「HAAS Project」(1999年より)

[中左] 高橋智隆+白石晃一+國府理+ヤノベケンジ+ウルトラファクトリー CHOROBO 5号機《erectus》2012年 HONDA Ape 50、他 128×135×73 cm

[中右] 木村太陽《Everything Merges With the Night》2012年 写真プリント、他 41.5×29.7×91.5 cm

[右] 植松琢磨《earth palette - Jan.23.2015》2015年 水彩絵具、木、プラスチック、鉄 36×26×27 cm

◎お問い合わせ: アートコートギャラリー 八木・大場・灰田 ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F E-mail:info@artcourtgallery.com TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 www.artcourtgallery.com



**ARTCOURT Gallery**  
Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

# 國府理の仕事と仲間たち 展覧会開催のご案内

Osamu Kokufu: His Work and His Circle

## 【作家略歴】

### 國府理

- 1970 京都府生まれ
- 1994 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了(彫刻専攻)
- 1993— ソーラーカーによるアートプロジェクト「Solar Power Lab」に参加
- 2014 4月29日 永眠 享年44

#### | 個展 |

- 2014 國府理展 相對温室 (青森公立大学 國際芸術センター青森)
- 2013 國府理 未来のいえ (西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 國府理展 (モトコ-博物館#183、神戸・兵庫)
- 2012 國府理 ここから 何処かへ (京都芸術センター、京都)
- 國府理展 水中エンジン (アートスペース虹、京都)
- 2011 國府理展 KOKUFUMOBIL 回転する歯車は並行世界の夢を見るか?  
(チカエコダ、日本大学芸術学部江古田校舎、東京)
- 2010 國府理展 Parabolic Garden (アートコートギャラリー、大阪)
- 國府理展 Surreal Instruments (アートスペース虹、京都)
- 2009 ACG eyes 3: 國府理 —ROBO Whale— (アートコートギャラリー、大阪)
- 2008 國府理 move to moving (松本市美術館、長野 \*松本市美術館・信州大学合同企画)
- 國府理展 (アートスペース虹、京都)
- 2007 Premonition — KOKUFUMOBIL 國府理展 (ギャラリー<space B>、大阪成蹊大学芸術学部、長岡京・京都)
- 2006 國府理展 KOKUFUMOBIL (アートスペース虹、京都)
- 2005 國府理展 KOKUFUMOBIL (アートコートギャラリー、大阪)
- 2001 前橋芸術週間 pre-air vol.2 KOKUFUMOBIL 仮想過去 — 未来 (旧前橋消防本部庁舎、群馬)
- 1994 KOKUFUMOBIL (アートスペース虹、京都)



『國府理 未来のいえ』(2013、西宮市大谷記念美術館)にて  
撮影:シュヴァーブ・トム

#### | 主なグループ展など | ※2003年以降

- 2013 六甲ミーツ・アート 芸術散歩2013 (六甲カンツリーハウス、神戸・兵庫)
- モバイル・トリエンナーレ (豊橋市/知多市/春日井市/東栄町、愛知) \*あいちトリエンナーレ2013関連企画
- あいちトリエンナーレ2013 (中央広小路ビル、名古屋・愛知)
- 北九州をめぐるアート展 vol.5 (北九州市立美術館本館 市民ギャラリー(アネックス)、福岡)
- 2012 愛知県鑑賞学習普及事業 アートイベント ドラム・カー (愛知県立岡崎盲学校/愛知県立名古屋盲学校)
- 見つけ!このはな 2012 (ニュー千鳥橋ビル、大阪)
- 隠岐しおさい芸術祭2012 (西ノ島町、島根)
- 福島現代美術ビエンナーレ2012—SORA— (福島空港、須賀川市/玉川村・福島)
- 2011 TRA: Edge of Becoming (Palazzo Fortuny、ヴェネツィア、イタリア)
- 始発列車 モトコ- ART train (元町高架通商店街、神戸・兵庫)
- 2010 六甲ミーツ・アート 芸術散歩2010 (六甲ガーデンテラス、神戸・兵庫)
- 地力。Ⅲ ARTイマジネーション in KOBE 北野 2010 (ローズガーデン、神戸・兵庫)
- 2009 First Passage (アートコートギャラリー、大阪)
- 神戸ビエンナーレ2009招待作家展 LINK しなやかな逸脱 (兵庫県立美術館)
- エコ&アート —アートを通して地球環境を考える— 近くから遠くへ (群馬県立館林美術館)
- 2008 RICアートカプセル (六甲アイランド、神戸・兵庫) [’07-’04]
- 街じゅうアート in 北九州 2008 ものづくり・ものアート vol.2 (リバーウォーク北九州、福岡)
- 地力。Ⅱ ARTイマジネーション in KOBE モトコ- 2008 (モトコ-タウン2、神戸・兵庫)
- 大阪・アート・カレイドスコープ 2008 (東横堀緑道、大阪)
- 2007 裏・アートマップ 2007 (京都芸術センター、京都)
- 未来の乗りもの展 (ロボットミュージアム、名古屋・愛知)
- 京都府美術工芸新鋭選抜展~2007新しい波~<審査委員推奨作品> (京都文化博物館)
- temiru 國府さんの作品を体験しよう (京都市立洛風中学校、京都)
- 2006 取手アートプロジェクト2006 —仕掛けられた取手— (旧戸頭終末処理場、取手・茨城)
- 地力。ARTイマジネーション in KOBE 磯上 2006 (門屋ビル、神戸・兵庫)
- 2005 art-life vol.4 大巻伸嗣/國府理展『PARADICE TIME』(スパイラル、東京)
- 2004 new letters from Kyoto 西山祭典 2004 (京都大学桂キャンパス、京都)
- MOVIL “VJ car” (京都芸術センター講堂、京都)
- 2003 Art Court Frontier 2003 (アートコートギャラリー、大阪)



『國府理展 KOKUFUMOBIL』(2005、アートコートギャラリー) 会場風景  
撮影:豊永政史

#### | パブリックコレクション |

西宮市大谷記念美術館